



400年前の伝統を誇る三次の鵜飼



第11号

昭和51年5月31日

野村節也

永井又太郎

印刷所 広島県双三郡吉舎町 佐々木印刷株式会社

消化性潰瘍診療の実際

東京女子医科大学成人医学センター

市岡四象

消化性潰瘍は比較的ポピュラーな疾患の一つであるが、①再発再燃を繰返し易く、②大量の吐血、下血、③穿孔を来し易いこと、④胃癌との鑑別を要することから、その診療に当たってつねに内科、外科の密接な連絡が必要である。

以下経験例を基にして、消化性潰瘍の最近の話題についてのべる。

A 幽門洞の急性多発性潰瘍
心窩部の激痛で発症し、吐血を来たすこともある。胃X線像では幽門洞の伸展不良と、不整形の陥凹を認めることが多く、胃癌との鑑別を要するが、数日後には胃壁も伸展し、多発性の浅い陥凹が散在する。内視鏡像では出血性びらんを伴った前後壁に対称性の不整形潰瘍がみられる。比較的短期間に経過し、通常一三週間で治癒する。

ストレスに起因するものが多い

が、過度のアルコール摂取による頻回の嘔吐が誘因になる場合もあり、山口県防府地方ではサバのさしみを食べた後に生ずることが多く、アレルギーも関与しているようである(長崎進博士)。

B 消化性潰瘍の再発再燃
胃・十二指腸潰瘍はしばしば再発、再燃を繰返し易く、長期間にわたる観察例の集計では、やく六〇%に達するという報告もある。潰瘍再発の誘因を調べてみると、ストレスによるものが大部分で、その他食事の不摂生などがあげられる。

胃十二指腸潰瘍併存例では、いずれも十二指腸潰瘍が先行しており、十二指腸潰瘍が治癒した後、数年経って胃潰瘍の発生をみる場合が多い。

しかし、嚴重な食事療法と日常生活を規則正しくさせ、ストレスを除くような環境が与えられた場合は、必ずしも再発はみられない。一旦治癒した後も、再発を防止するため、少なくとも一年間は通院させ、生活指導と薬剤療法を続けられた方がよいと考えている。

とくに胃液分泌が生理的に亢進する春、秋は注意をうながす方がよい。

C 高齢者の胃潰瘍
近年高齢者の胃潰瘍が増加する傾向がみられる。核家族の普及によるストレスが影響しているものと考えられるが、高齢者の胃潰瘍の特徴は、①胃体中、上部後壁に好発する。②しばしば再発再燃を繰り返す。③吐血を来たす場合が多く、④胃液は量、酸度ともに低下している。すなわち、塩酸、ペプシンなどの攻撃因子よりも、防禦因子である胃壁の抵抗性の減弱が主因になっている。

経過が長く、生活指導も困難を極めるが、悪性化の徴候さえなければ内科的療法が理想的である。この場合、抗コリン剤よりも粘膜保護剤を主体として治療する方がよいと考える。

D 出血胃の緊急内視鏡検査
上部消化管出血に対する緊急内視鏡検査は現在では常識化してきた。吐血直後にまず血圧を測定し、最高血圧が一〇〇ミリHg以上なら、胃管を挿入し、冷水で軽く胃洗浄を行なう。この際、凝血塊が吸引されたら、鎮痙剤を筋注し、咽頭麻酔を行なった後、ファイバースコープを挿入して病巣を観察する。使用する内視鏡はパンエンドスコープと呼ばれている食道から十二指腸球部までが一回の挿入で観察可能な器種を用いるののもっとも効果的で、まだ出血しているようなら、一〇〇〇倍のアドレナリン液をその部位に噴射すれば、潰瘍からの出血は大部分止血することができ。

ショック状態では緊急手術の必要があり、必ず外科医に連絡した上で、点滴を行ないながら、内視鏡検査を行なって出血源を確認し、手術の適応を決定する。

出血源は胃体上、中部潰瘍ももっとも多く、ついで十二指腸潰瘍例が多い。

E 早期胃癌の悪性サイクル
早期胃癌の中に存在する潰瘍性病変も良性胃潰瘍と同様に縮小、

救急医療を考える

鳴戸 謙 隆

治癒するということがわかったのはつい十年ほど前のことである。すなわち、従来胃の潰瘍性病変が経過とともに縮小してくるのは良性潰瘍と考えられていたが、癌の場合も陥凹性病変は治癒、再発を繰り返すものがあることがわかり、悪性サイクルと呼ばれている。注意してみても行く、進行胃癌でも悪性サイクルをたどるものがあり、胃潰瘍の質的診断もかなり厳密な目が要求されるようになってきた。

したがって、たとえ良性胃潰瘍と思われる病変をキヤッチした場合でも治癒までの期間には、できるだけ頻回の検査を行なって経過観察する必要がある。

F内視鏡による胃潰瘍辺縁の微細観察

さききのべたように悪性サイクルの概念が確立された現在では、潰瘍の各時期によって癌との鑑別が必要となってきたが、われわれは内視鏡で潰瘍辺縁の微細観察を行なって、その鑑別を試みている。良性潰瘍の治癒期には潰瘍辺縁に刷毛状の発赤した再生粘膜像が認められるが、癌性のびらんでは不規則な斑状発赤や一様な赤味として観察される。

これらの特徴はかなり微小な早期胃癌の場合でも識別される。胃生検の発達した今日では、とかく生検診断のみに頼り易い傾向があるが、あくまで診断法の基本は忠実に守って行く必要があると痛感している。

救急医療は地域医療として、住民的な立場から考えなくてはならない。そして、これは地方自治体が責任をもって実施すべきものであることは、誰も異論のないところである。しかし、今日の自治体では十分な救急医療の実施は期待できないものがある。

社会構造の変化により、住民の医療に対する欲求は非常に高度となり、マスコミもこの風潮に同調し、(医事紛争(告発))等、増加の一途をたどっている。

もし医師会がこの問題に関与しないならば、行政が医療の社会化、統制を実施し、遂には国営の方向へと施策を講ずるであろう。

開業医の立場から救急医療を考へると、

- ①規模、設備が不十分
- ②医療従事者の問題
- ③医療事故、告発

等の問題を含み、対応能力の限界がある。

しかし、住民意識として最高の医療を受けたいと我慢できない状態である。しかし、我々はこの問題を回避するわけにはいかない。むしろ積極的に取り組まなければならない。

けれども、対応能力の限界がくるときは、直ちに入院治療をさせるルートを保証しなければならぬ。

当地区においては、双三中央病院を二次病院として、救急医療ベツトを確保すべきであると考え。とはいえ、双三中央病院においても種々の問題がある。病床の確保、医師、医療従事者等、開業医と同様の困難にぶちあたる。

これらの問題は地方自治体が解決すべきことである。開業医、病院ともに大きい負担がかかってくる。

すべて国民は、健康的な生活をする権利を保障されているが、医師にとっては労働基準法は夢である。

開業医・病院・地方自治体の三者が協力して、救急医療を実施しなければならない。

われわれは、医師という天職で社会に貢献し、医は仁術であると地域住民に思われるよう、努力したいものである。

随筆

王と張本

巨人選手団の

カープファン殴打事件

岸田 久

去る四月十八日、カープ対巨人戦が広島市民球場で行なわれ、カープが九回裏サヨナラ勝ちに終わったのであるが、ホームタッチプ

レーで巨人軍選手団が大挙してチーファンバイアーに抗議して、あわや昨年の中日選手殴打事件かと思わせたが、無事にすみ、ほっとした所が(抗議は、監督とコーチしかできないのに)巨人選手がバスに乗り込むのを、カープファンがなだれ込み乱闘となり、巨人選手はバスの中からバット・ケース・からバットを引き抜いてカープファンをなぐり(黒丸は、著者が特につけたもの)張本はファンを押し倒し、蹴り飛ばしたと言う事件となりました。張本は、当日の試合で、カープファンの民族的差別的暴言でやじられた為で、張本には誠に気の毒で、むしろ被害者は張本だと、弁護の文章を大阪読売新聞社会部長の黒田某が度々書いておられます。理由はともあれ、選手がファンを殴るとは、もってのほかだと思います。それも張本は殴っていないと言っており、現在書類送検のみで結着はついておりません。伝統ある巨人選手団がファンとトラブルを起こしたことは、日本初のプロ野球団として四十数年いまだかつてなかったことです。それにつけても王選手のマナーは実に立派です。今年の様にどんだんホームランを打つても、ダイアモンドを一周する彼の姿は全く日本一と称賛すべきだと思います。

これに反して、張本選手は憎々しく肩をゆすり外股で打席に入る姿は、カープファンならずとも腹の立つことでしょう。その上、三振でもすればよいのにヒットを打って、ファースト塁上で手を叩きスタンドの方を見あげるのだから、

鎮痛・抗炎症剤

バンブラミン[®]カプセル

一般名=塩酸チノリジン (単位当り¥28.00)

製造=吉富製薬株式会社
販売=武田薬品工業株式会社

鎮痛・解熱・消炎剤

インテバン[®]SP

《スパンスールカプセル》

製造発売元 住友化学 医薬事業部
販売元 稲畑産業 医薬事業部

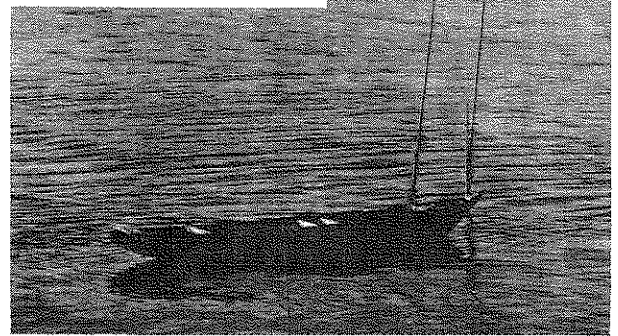
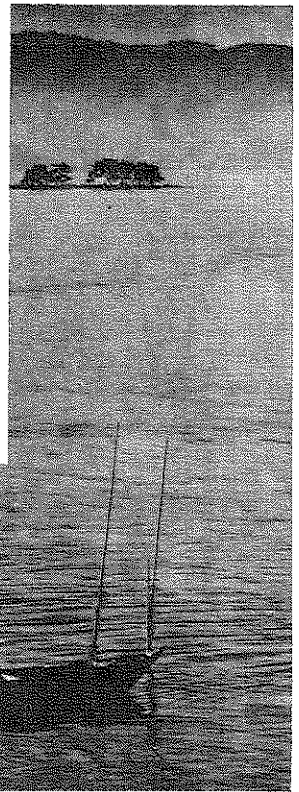
たまったものではありません。とにかく、安打をとばす技術にかけては天才で、先日二五〇〇安打を達成し、日本プロ野球選手では年間三割八分三毛の最高打率保持者でもあります。先輩選手を殴り、タクシー運転手と喧嘩をし、バットを手にして阪急のスペンサーへおどろかかったり、元巨人軍にいたロッチの城之内選手とグラウンド上で悶着をおこしたりしています。広島段原中学校時代悪童ぶりを發揮して、広島市内の高校野球名門校に入学せず、大阪の浪商に入学したと言われております。そして当時、巨人監督水原さんに巨人入団をことわれたが、巨人上層部の反対で入団できず、東映にプロ野球の一步を踏みだしたわけです。プロ野球在籍十六年間で三割を打たなかったのはたったの四度、通算打率三割一分台を記録しています。誠に日本プロ野球界に貴重な誇り得る選手と思います。

「張本選手のつよさは、やはり異国で長年の冷遇に耐え続けた韓国人のつよさだろうし、利己主義も世わたりの巧みさもそこから説明できると思われます」(文芸春秋五月号より転載) 金田ロッチ監督とともに韓国のスポーツの英雄として、全国民よりたたえられている張本選手だから、好漢よろしく自覚されて、王選手とともに巨人軍選手として、いな日本プロ野球選手の亀鑑となり活躍されることを祈るや切であります。(巨人ファンの方には、張本選手の個人攻撃になりすぎたことをお許し下さい。)

51年度結核診査協議会開催日程表

三次保健所

月 別	1 回 目	2 回 目
4 月	1 3 日 (火)	2 2 日 (木)
5 月	1 1 日 (火)	2 5 日 (火)
6 月	1 0 日 (木)	2 2 日 (火)
7 月	1 3 日 (火)	2 2 日 (木)
8 月	1 3 日 (金)	2 4 日 (火)
9 月	1 4 日 (火)	2 4 日 (金)
1 0 月	1 4 日 (木)	2 6 日 (火)
1 1 月	1 1 日 (木)	2 5 日 (木)
1 2 月	9 日 (木)	2 1 日 (火)
1 月	1 1 日 (火)	2 0 日 (木)
2 月	1 0 日 (木)	2 2 日 (火)
3 月	1 0 日 (木)	2 4 日 (木)



ブロッックだより

双三地区医師会ゴルフ遠征報告

佐藤 俊 久

『五月二日、神戸ゴルフクラブ』

『五月二日、神戸ゴルフクラブ』

『五月二日、神戸ゴルフクラブ』

の各先生方、ケンコーの中原さん、多田医療器の多田さん、世話を頼んだ私の友人達が勇躍アウトの一番に向かう。コースは全体に手造りなだけに箱庭的で、ショートホールは長い上にグリーンは狭く、かつ砲台型で難かしい。特に、十三番二百二十ヤードのショートホールは、同行の友人が、かつてどんな飛ばし屋と回っても中々ワン、オンしない所という。ここはまた、六甲国立公園の自然の中にあり、二番の狭いフェアウェイ、グリーン

浅田先生と特別参加された広大の川本先生とが合流し、明日のコンペに備えた。『五月三日、神有カントリークラブ』

ルフ場である。従って、仲々簡単にビヂターが入れないのだが、この理事長の玉井氏が高場先生の親戚であるという幸運に恵まれ、御紹介頂いた訳である。三次カントリーでやりつけているせいも、あまり広いのと長いので、少々勝手が違い、昨日よりは更に悪戦苦闘の連続であった。

Table with 4 columns: No, YP, PAR, 某氏. Rows 1-18 and totals.

(このゴルフ・ツアーの実現に色色とお骨折り頂いた高場先生、御援助・御協力を賜わった中原さん、多田さんに深く感謝する。)



Daipin advertisement for digestive system ailments. Includes text: 消化器系鎮痛・鎮痙剤 Daipin, 上腹部痛に制酸剤の効果持続に...

Oproweza advertisement for anti-inflammatory and anti-swelling. Includes text: 健保適用 抗炎症・抗腫脹作用がすぐれている! 消炎酵素剤 オプローゼSA

会員紹介



「絵の話」

佐伯習之先生



影の色をキレイに描く。油絵をはじめた頃から、こんな注意をうけてきました。

画面で一番、目につくのは、明るい所、コントラストの強い部分ですが、大体はこのあたりに絵の主題があるので、そこへ目が行くように、様々な工夫がされています。

一般に明るい色は、だれが描いても余り違いはないと言われていますが、この明るい色と調和し、引き立たせるような、影の部分がよく描けているか、どうか、描き手の実力、もち味と言ふことだろうと思います。

油絵をはじめた約九年。存命中の太田 忠先生が、洋画教室を、はじめられた頃からです。ときおり、話のついでに絵の見

方をきかれるのですが、片手間に絵をかいているからとて、見方など判りませんが、私達は、影の色を勉強しているとも、言えそうです。

しかし、年と共に、画の好みも、キレイな色という感覚も、変わって行きますし、実際一生懸命描いた積りが、一向に反応がなくて、サツパリ芽えなと思う色が、絵の先生からキレイだと褒められたりしますから、一概には申せませんが、影の部分キレイに描く、と言うのは話としても、なかなか味わいがあるように思います。

忠先生が始められた洋画教室は、今も月曜夜に、三次公民館で続けられ、いつでも、どなたでも入会出来るようになっていました。

当初の生徒の中に、今は二紀会会友に、あるいは二紀、新制作展に入選されている方も、何人かおられます。

そして一方では、ただ楽しみながら描き続けて、月日がたったと言う者もいるわけです。

河野 彰先生



大正十年一月二十一日三次市栗屋町で生まれる。

現住所 双三郡若田村東入君七 一八の六

昭和十八年京都大学附属医専卒業
昭和三十三年四月より若田国民健康保険診療所勤務十九年を経過

当初若田村の戸数人口は、八四九戸、四、二八一名であったのが昭和五十一年、六四〇戸、二、三六一名と減少しました。公立診療所としての種々模索をしながら現在に至ってしまいました。

老人医療の無料化が問題視されていますが、それまで若田村では病気がなった老人の中から一年間一〜三名の自殺者が出ていたのが、老人医療無料化されてなくなってきた、その点では良い制度だと思えました。

家族

母 マサノ 八〇歳

妻 千鶴子 四六歳

長女 童子 二一歳

次女 公子 一九歳

三女 光子

神戸学院大薬学部四年生
神戸女子薬科大一年生
広島清心高校二年生

藤井 正二先生



大正十年六月七日生

三次市三次町一七七一の一

藤井内科医院

昭・一八・九・岡山医大専門部卒業

昭・一八・一〇・平壤へ入隊

昭・一九・一・北京へ赴任

昭・二〇・一二・北支より復員

家族

妻 恒子

長女 戸海子、内科医に嫁し、昨年女子出生

長男 正和 慈恵医大に在学中

昭和二十一年四月、種々の不安を感じながらも、出征中の空白をとり戻さんと、岡山医大第二内科教室に入局、しかし病棟の大半は空襲で焼失し、外科病棟に仮住居の為、研究は殆んど出来ず、受持の患者も一名位、それに、食糧がなく、職員食堂の食事は甘藷が主で、下宿生活の小生は栄養失調にもなりかねない頃、丁度、教室関係の、日立造船向島病院から申し込みがあり、尾道には親戚もあつたので、暫の間、世の中の情勢を見ることにして、医局を出ました。

さすが、尾道は詩人、文人の好んで住んだ所、人情の深さと、風光の美しさ、食糧の新鮮さにひか

れ、遂に昭和二十六年九月迄、四年数か月も居座ってしまつた。この間に結婚し、長女は瀬戸内海よりとつて、戸海子と命名し、長男は、昭和二十六年八月三十一日、吉田茂氏が、日米講和全権として出発された日に出生、和をとつて正和と命名。

同年九月、決意も新たに、家族と共に、第二内科研究室に帰り、本格的な医局生活に入る。

そして昭和三十一年四月、丁度研究を終つた頃、教室関係の先輩が、病にたおれた為、一年余、鳥取県、根雨農協病院に勤務。

昭和三十三年一月一日当地に開業、当時、新規開業した者では、本原先生に次いで若く、又、長らく当地を離れていた為、殆んど何も分らずに開業し、種々の苦労もあつたが、余り気にもならなかつたように思います。

兎に角、この半生は、出征、復員、戦後の医局生活、開業と、実に目まぐるしく、落ちつかないものでした。

昨今では、ひと休みしたいと言う気持です。この一年位、休日には努めて野山を歩いています。田舎育ちの小生にとっては、こんな時こそ、将に、水を得た魚とも言ったような気持です。雑草も刈り、草を切つて木々の枝を放してやる時など、やはり、患者の治療にも似て快感を覚えます。この半年間に花木を少々植え、四月には家族で、ささやかな花見も出来ました。付近には、雉、小鳩、小鳥が多く、彼等の食糧も植えてやりたいと思つています。

医師会だより

(昭和五十一年三月一日) 昭和五十一年五月三十一日

三月一日(月)
 三次事務署との相談日(白色会員)日割表決定発送。
 三月十一日(木)
 結核審査会。
 三月二十三日(火)
 日曜当直医計画表発送。
 結核審査会。
 三月二十六日(金)
 野島宏先生御尊父葬儀。
 四月一日(木)
 三次保健所、寄山浩子先生退会
 四月二日(金)
 センター自動車集配中、世羅西町小国において事故。
 四月十三日(火)
 結核審査会。
 四月十五日(木)
 昭和五十年年度監事会。
 出席者 吉光・岸田両監事、野村会長、鳴戸・高場両副会長、永井・長船両理事。
 四月十七日(土)
 第二十七回医学講演会。
 於・三次文化会館。
 四月二十一日(水)
 理事会。
 昭和五十年年度一般会計及び検査センター会計決算に関する件。
 昭和五十一年度一般会計及び検査センター会計予算案に関する件。
 救急医療対策協議会の件。

委員長・鳴戸謙隆
 委員・箕岡源一、岡崎邦之
 予防接種対策協議会の件。
 委員長・高場賢治
 委員・板橋守、田中恭生
 慶弔規定の件。
 会員死亡の場合
 香典五万円。生花料一万円。弔電。
 会員病気の場合
 入院一週間以上、見舞金一万円。
 会員家族死亡の場合
 香典五千元。生花料一万円。弔電。
 備考
 家族の範囲
 会員の両親及び子供、配偶者の両親、その他の場合は、実情に応じて対処する。
 尚、慶事に關しては、次回検討。
 今年度、於三次文化会館、広島県学校保健大会に二万円補助金を支出する。
 センター職員への給与、通勤手当の改訂について検討。
 四月二十四日(土)
 昭和五十年年度双三地区医師会、(詳細は広島医師会速報第八五九号に掲載)総会。
 於 環翠楼、午後三時より
 会員総数八四名、出席者二七名、委任状提出者四名。
 議事録署名者・有信敬一、佐々木務両先生。
 野村会長・地域保健推進のため全力を尽す熱意ある挨拶。
 昭和五十年年度一般会計歳入、歳出に關する決算報告及び同年度の検査センター歳入、歳出に關する決算報告があり、吉光会計監査より報告後、出席者全員承認された。
 昭和五十一年度一般会計予算案及び検査センター予算案を永井経理事より説明報告され、予算案は承認された。
 用紙会計の利益金の一部は、職員の福利厚生費に流用の件承認。
 総会終了後、懇親会。
 佐藤俊久先生御尊父葬儀。
 五月十九日(水)
 特別委員会
 出席者 野村会長・鳴戸・高場両副会長・永井・長船両理事。
 職員通勤手当改訂。
 交通機関利用者には、全額支給、但し最高限度額一万一千元。
 交通用具使用者には、一定基準により支給、但し最高限度額一万一千元。
 給与改訂。
 諸物価上昇を勘案して改訂支給する。
 扶養手当改訂。
 配偶者四千元、子供一人に對して一千元。
 集配用自動車買替二台。
 センター機械器具購入。物置設置について。
 会館二階北側に会議室、書庫設置の件検討。
 五月二十五日(火)
 第十三回、巴杏、編集委員会
 於・石田無線 午後六時三十分
 出席者 高場副会長、永井委員長、箕岡・藤谷・酒井各委員。
 五月二十六日(水)
 星田政之先生御母堂葬儀。
 (永井記)

編集後記

梅雨明けも近いと言うのに毎日鬱陶しい日が続きます。アメリカでは建国二百周年記念の数々の催しが華やかに実施されているようですが、我が国ではロ事件以来何となく釈然としない毎日、全く梅雨空を眺めるようです。諸先生方御変りなく御活躍と思えます。
 長老の森戸先生(巴杏の題字執筆者)更に星田先生が急逝される等医師会内でも急変が続発しています。詳細は次号に譲り兎も角会員一同両先生の御冥福を祈ると共にお互いに健康に十分留意しましょう。
 巴杏の原稿がやっと集まり何と大発行の運びとなりました。大変遅れましたことを深くお詫び申し上げます。では先生方方の御健勝を祈っています。(永井記)

新 広域合成ペニシリン
パセトシン® カプセル 細粒
 「日抗基」アモキシシリン製剤
 薬価 ■125mgカプセル 137.40 ■250mgカプセル 268.00
 ■細粒1g 197.60
 協和醸酵 特許許諾 英国ビーチャム社

抗動脈硬化剤
 抗キニン性・抗凝縮型炎症反応因子性
 血管透過性亢進阻止剤
ANGININ

 BANYU PHARMACEUTICAL CO., LTD